

令和元年度目標管理シート

【地域創生部長 武岡 忠史】

| | | | |
|------|---|-----|----------------|
| 市の目標 | 将来都市像「人と人 人とみどりが響きあい 笑顔あふれる 東村山」の実現 | | |
| 部の目標 | 地域創生部元年に蒔いた種を確実に成長させ 自己実現が図れる”たのしみらやま”なまちをつくる | | |
| 部の概要 | 人員 | 21人 | 予算規模 881,856千円 |

【具体的な取り組み】

| No. | 課名 | 総計・ 行革・ その他 | 項目 | 目標 | 評価 | 成果又は課題 |
|-----|-------|-------------------|----------------|---|----|--|
| 1 | 産業振興課 | 総計 | 都市農地保全の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市農地の多面的機能を発揮し、市民の農業への理解を醸成するため、都市農地保全支援プロジェクト補助金を活用する農家を5経営体以上とする。 ・果樹の出荷体制を強化し、東村山農業の安定的な継続を図るため、都市農業活性化支援事業補助金を活用する農家を5経営体以上とする。 ・都市農地の減少に歯止めをかけ、農地の確保及びその有効活用を図るため、農地の創出・再生支援事業補助金を活用する農家を1経営体以上とする。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ●7経営体の農家に対し、都市農地保全支援プロジェクト補助を行った。 ・防災兼用農業用井戸、土留めフェンス等の設置を希望する農家と協議を行い、事業を実施した。 ●7経営体の農家に対し、都市農業活性化支援事業補助を行った。 ・東村山直売会に説明会を開催するとともに、事業実施に向けた協議を行った。 ●1経営体の農家に対し、農地の創出・再生支援事業補助を行った。 ・空き家解体撤去、土壌整備等を希望する農家に事業を実施した。 |
| 2 | 産業振興課 | 総計 | 地産地消の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における地場農産物の使用比率を12.5%以上とする。 ・マルシェ久米川を継続的に開催する。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ●令和元年度における地場野菜の使用割合は、13.27%となり、目標数値を上回った。 ・学校給食地場野菜納入会議を年3回開催し、地場野菜の日の野菜の選定等協議し、使用率の向上に努めた。 ●マルシェ久米川を通年で開催した。 ・マルシェ久米川への出店要請を継続して行うとともに、8周年イベントを開催し、認知度向上に努めた。 |
| 3 | 産業振興課 | 総計 | 農産物等共同直売所設置の検討 | 農産物等共同直売所設置に向け、地元業者と協議する。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ●地区別座談会において、農協「新鮮館」の建替えに伴う協議を実施した。 ・スポーツセンター及びサンパルネにおいて、夏季及び冬季限定でマルシェを実施するとともに、文京区体育館において文京マルシェを実施した。 |

| No. | 課名 | 総計・ 行革・ その他 | 項目 | 目標 | 評価 | 成果又は課題 |
|-----|------------------|-------------------|--------------|--|----|--|
| 4 | 産業振興課 | 総計 | 農産物ブランド化推進事業 | ブランド化補助を活用する農家を5経営体以上とする とともに、赤キウイのブランド化に向け、東村山果樹組合 と協議する。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ●12農家に対し、果樹苗木の補助を行った。 ●果樹組合にブランド化補助の説明を行い、赤キウイの ブランド化に向けて協議した。 |
| 5 | 産業振興課 | 総計 | 創業支援事業の推進 | 東村山市内において、年間17件の創業者を創出する。 (東村山市創業支援事業計画) | B | <ul style="list-style-type: none"> ●市の融資制度紹介や窓口相談、また、各支援機関が実 施する創業塾・セミナーの開催支援、周知を実施し、1 6人が創業した。 ・市創業相談窓口による相談(26件) ・市融資制度の利用及び補助制度の利用(特定創業2 件) ・商工会による創業塾の開催(3回実施。内1回市施設 利用) ・連携機関による創業セミナー・創業塾の開催(一部市 施設利用) ・小平市との共催により、小平市内で創業セミナーを開 催 |
| 6 | 産業振興課 | 総計 | 観光事業の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・菖蒲まつりをはじめとした市内観光コンテンツの周知 方法を拡充する。 ・東村山観光振興連絡会事業として、鉄道ウォーキング イベントを誘致し、市外からの誘客や地域ブランドPR を行う。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ●観光客流入に向けた認知獲得のため、中国人インフル エンサーを活用した計3回のプロモーションを行い、約 815万PVを獲得した。 ●東京観光情報センター(新宿・立川)で、菖蒲まつり PRを実施した。 ●鉄道事業者ウォーキングイベントを開催し、市外から 多くの来場者を誘客(参加者1,759名)するととも に、参加者記念品として地域ブランド「里に八国」関連 商品を頒布(750個)した。 |
| 7 | シティ セールス 課 | 総計 | 市内事業者の販路拡大支援 | 支援対象事業者への伴走支援、市内事業者を結ぶ商品開 発やイベントへの支援、市内事業者・関係機関による成 果報告会及び事業成果リーフレットの作成を行う。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ●支援対象事業者への伴走型支援(ハンズオン支援)を 実施し、令和2年2月17日に支援事業者の連携を図るた めの情報交換会を開催すると共に、「東村山市ハンズオ ン支援事例集」を作成した。 |

| No. | 課名 | 総計・ 行革・ その他 | 項目 | 目標 | 評価 | 成果又は課題 |
|-----|-------------------------|-------------------|--------------------------------------|---|----|---|
| 8 | シティセールス課 | 総計 | 地方の中小企業の首都圏進出拠点形成支援 | 都内進出を検討する中小企業等に営業活動を行う。 | B | ●市ホームページに市内物件情報等を公開したが、具体的な営業活動には至らなかった。 |
| 9 | シティセールス課 | 総計 | 公民連携による雇用創出 | ジョブシェアセンター東村山における雇用拡大を図る（スタッフ数35名）。 | A | ●ジョブシェアセンター東村山において35名の雇用を達成した。 ・東村山就職情報室、ほっとシティ東村山、障害者就労支援室との連携による就労が実現した。 ・ジョブシェアセンターの運用状況について四半期ごとに関係機関との情報交換会を開催した。 |
| 10 | シティセールス課 | 総計 | シティプロモーションの推進 | これまで作成したシティプロモーションツールを活用したシティセールスを行う。 | A | ●ウェルカムガイドを近隣市にある住宅展示場や、市内モデルルーム等に配架し、来場者へ配布した。 ●多摩六都科学館で開催される市民感謝ウィークに合わせてプロモーション動画を放映した。 |
| 11 | 東京2020オリンピック・パラリンピック推進課 | 総計 | 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした国際スポーツ交流事業 | 関係団体及び関係各課と協議・調整を行いながら、友好交流都市中国蘇州市などとのスポーツ交流事業を実施する。 | A | ●蘇州市外事弁公室や東村山市サッカー協会などと協議・調整を行いながら、子どもたちの安全・安心に配慮しつつ東村山市・蘇州市スポーツ交流事業を実施した。 |
| 12 | 東京2020オリンピック・パラリンピック推進課 | 総計 | 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした市民スポーツの推進 | 東京2020オリンピック・パラリンピック開催の気運を醸成させるため、市民参加型のイベント実施やホストタウン啓発などを行う。 | A | ●市報や市ホームページ、facebook等を活用して参加者を募集し、オリンピック1年前イベント（令和元年7月30日）には約250名、パラリンピック1年前イベント（令和元年8月24日～30日）には888名に参加があった。 ●市内の全小中学校にて学校給食で中国料理を提供するchina week(令和元年12月9日～13日)を実施した。 ●上記の取組を通じて市内での気運醸成やホストタウン啓発を行った。 |

| No. | 課名 | 総計・ 行革・ その他 | 項目 | 目標 | 評価 | 成果又は課題 |
|-----|---------|-------------------|--------------------------------------|--|----|--|
| 13 | 市民スポーツ課 | 総計 | 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした国際スポーツ交流事業 | 友好交流都市中国蘇州市などとのスポーツ交流事業を実施する。 | A | <p>●令和元年7月31日～8月3日の期間において、市内の小学校15校より選出された派遣団20名（引率者5名）で、中国蘇州市を訪れ、現地の小学生とスポーツや文化等の交流を行った。</p> <p>●令和元年9月25日に中央公民館ホールにおいて、市民を対象に訪中した派遣団による報告会を開催し、約400名の参加があった。</p> <p>・中国蘇州市とのスポーツ交流事業の実施に向け、選手選考や事業内容等について、平成31年4月より、「（公社）東村山市体育協会」及び「東村山市サッカー協会」と協議し調整した。</p> <p>・中国蘇州市を訪問の際は、東村山市サッカー協会より引率者として5名が同行した。</p> |
| 14 | 市民スポーツ課 | 総計 | 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした市民スポーツの推進 | 東京2020オリンピック・パラリンピックに対する理解促進を図り、市民の気運を醸成する事業を実施する。 | A | <p>●令和2年1月11日に、パラリンピック競技の用具を体験できる「パラスポーツ運動会」を開催し、104名の参加があり、東京2020パラリンピック競技大会の気運醸成へとつながった。</p> <p>・本事業の開催において、スポーツ推進委員会やオリパラPTの職員と連携した。</p> <p>・対象となる小中学校には、チラシを配布し周知を図った。</p> <p>・（公社）東村山市体育協会と連携し、小中学生を対象としている協会や連盟等へチラシを配布し広く周知を図った。</p> |